

一般質問



白石 議員

一、松浦市のホームページについて
 二、離島と本土を結ぶ離島航路の増便と整備について

質問

一、(1)行政は市民にどんなことを知ってもらいたいとか、市民は何を知りたいのかなどがホームページに表示されていると思う。本市の場合はどうなるのか。
 (2)著作権に関しては、画面を見た人がわかるように、どの部分が侵害に当たるとか、それがコピーなどできないのかを表示すべきではないか。
 (3)管理責任者は誰か。どんな手順で文書等を掲載しているのか。

答弁

二、(1)22年度の御厨阿翁航路の乗客数は2万2千600人、うち青島で降りる人が1万4千700人、今福殿ノ浦航路の乗客数は2万6千600人と多くの方が利用されています。どちらの航路も通学者、通勤者にとって最終便の増便が必要と要望されてきたが、その対策はどうか。
 (2)本市総合計画書には合併新市の地域間交流を促進するため、公共交通体系の充実として地域間移動時間の短縮や海上交通網の整備として高速船の配備などが記載されている。実現するための施策はどのように考えているのか。

一、(1)市民に対しては必要な情報の提供を、不特定の方に対しては松浦市に関心を寄せて頂く情報等の提供を目的に開設しています。
 (2)現在、コンテンツごとに著作権に關して市に帰属する旨を記載していますが、ご指摘の件については、他市の状況を見ながら、その表現を取りまともて表すようなことを今後、考えてまいります。
 (3)各課で管理しています。各課の原稿をまちづくり推進課秘書広報係でチェックしてホームページに掲載しています。

二、(1)最終便の増便については、現在、協議を進めています。国庫補助航路であるため国と県との協議も必要です。安全運行を大前提に慎重に協議を進めています。今福殿ノ浦航路については、船の小型化も検討しています。
 (2)まずは航路の存続を第一に考えなければなりません。併せて利便性を高めるために航路の再編や小型化について協議を整え、再編計画をお示しできるように努力してまいります。

一般質問



立 鈴 議員

一、志佐川河川に關して
 二、安全・安心登下校対策について

質問

一、川は人の心を癒し、殺伐ころばらとした心を潤す環境をつくり出す効果がある。のどかな里山に流れるせせらぎの音を聞きながらの散策は、健康増進と体力の保持により効果をもたらす。しかし、市内の河川敷は、暖竹が茂り、竹林は多く非常に景観を悪くしている。県に河川整備の改善計画がなければそれを立案させて、予算化を強く要請し、年次計画の基に確実に執行するよう要望を行って頂きたい。近年、魚の減少は著しい。市が早急に対応しないと川に魚類が泳いでいない事態が生じる。ただ水が下流に流れるだけの夢のない川となる。とても危惧すべきことである。本来の豊かな生態系の川に戻す手立てを考えているのか聞きたい。

答弁

二、薬物依存者による無謀な運転、過労による居眠り運転など運転規範欠落者から、登下校時に幼い尊い命が悲惨な事故により失われなためには、広範囲による関係者協議会を設置し、情報の交換と共有をして、安全・安心登下校をあるべき姿にする抜本的対策を講ずるべきであるが、考えを伺いたい。

一、河川内の暖竹については、近年各地区より伐採の要望が出ており、県も市もその対応に苦慮しております。県へ要望していますが、現時点では具体的な計画はないということです。魚類の減少に対しては、志佐川内水面振興協議会でアユの採捕規制を制定したり、水産動物の保護培養に取り組んでおります。ハヤ類などの枯渇対策としては、移動式卵産床の設置によって資源培養ができないか、早い時期に協議会で試験的に取り組んで行きたいと考えています。
 二、子どもたちを悲惨な交通事故から守るためには、関係者が情報を共有することが非常に大事なことでと考えています。本市でも通学路の安全点検を行って、危険箇所を記した安全マップを校区ごとにつくり、警察にも情報をお伝えしています。現在、少年センターを中心に防犯協会、健全育成会、補導員会が会議を開いたり、学校関係と警察の連絡協議会を進めておりますが、今後、一体化した会議ができるような仕組みを検討してまいります。